



# MBニュース



## 【2017年冬筍・孟宗筍新物生産前状況】

丸松物産株式会社

中国の冬筍・孟宗筍の原産地からの報告では、昨年10月から穏やかな天候で、筍の生育は良かったとの事です。原料収穫は始まったばかりで、春節も重なった為、中国国内で市販される生筍の価格は現在が最も高い水準です。加工生産は4月下旬に終わる予定で、このまま天候被害を受けずに、順調に収穫が進めば、品質、価格とも良い製品をお届けできそうです。

### 「弊社の冬筍・孟宗筍販売製品」

<b>筍王牌冬筍</b>  <p>Mサイズ6~9本 Sサイズ10~15本 SSサイズ16~29本</p>	<b>筍水煮3~5本</b> 	<b>ホール</b> 400g 	<b>ハーフカット</b> 	<b>乱切り</b> 	<b>ストリップ</b> 	<b>穂先スライス</b> 
--	---	---	--	--	---	--

## 【2017年マッシュルーム生産前状況②】

12月号で中国の北に位置する山東省、河南省の生産前の状況を報告致しましたが、南に位置する福建省の生産前の情報を弊社仕入業者より得ましたので、ご報告致します。福建省では12月下旬から生産が始まりました。今期は天候被害などの影響を受ける事なく、順調に生育しており、1月に入ってから平均気温は18~22℃で、原料の生育に適した天候との事です。

12月号では、栽培面積が減少しており、減産すると予測していましたが、今年の原料は品質も良く、ホール規格の原料は昨年より増えるかと予測しています。今後も天候被害などの影響を受けなければ、原料価格は昨年並みになると思われます。しかしながら、下記に詳しく触れた通り、包材が値上がりしており、製品価格に5%上乗せされると報告がありました。値上げも予測されますが、中国国内の需要が落ち込んでいる為、海外市場の需要を促す目的から、製品価格は昨年と同等になると予測されます。

## 【環境汚染対策で中国国内の包材価格高騰！】

中国国内における大気汚染(PM2.5)や水質汚染など、環境汚染の発生を受けて、2016年10月から、中国政府は環境問題を改善するために力を入れ始めました。特にエネルギー消費と汚染レベルの高い製紙、鉄鋼、石炭業に対して、一定の数値を定めて、減産や工場閉鎖の政策を実施しているとの事です。この定めを中小企業レベルでは達成できずに、倒産に追い込まれているケースもあります。この為、中国国内の段ボールや缶の供給量が減少しつつあり、段ボールの価格は同期比で50%、ブリキ缶は平均価格より30%、石炭燃料は30~40%値上がりしました。また、路面の損壊を防ぐ為、2016年にトラックの重量制限を定めており、21.5トン以上の重量を超えた場合に1コンテナあたり500元(8250円)の罰金が科され、従来であれば、2コンテナ(40トン)運ぶ事ができたが、現在は1コンテナしか運べなくなっております。今後も情報を確認して参ります。

## 【春向けお勧め商品情報】

<b>穂先たけのこ煮1kg 味付穂先たけのこ煮 500g</b>  	<b>商品説明</b> 竹の子の穂先部分を楕円にカットして、土佐煮風に仕上げた製品です。ご飯のおかずで、また、天ぷらや煮物、炊き込みご飯のトッピングでご使用頂けます。
	<b>主原料</b> 穂先たけのこ
	<b>賞味期限</b> 製造日より6ヶ月
	<b>使用上の注意</b> 賞味期限は、未開封の状態を基準としております。保存料は使用しておりませんので、開封後はお早めにお召し上がり下さい。
  	